

各位

COVID-19 に対する drug repurposing 検討結果のお知らせ

2020年4月30日(木)、弊社は、COVID-19によるパンデミックの終息に貢献することを目的として、その複製に必須の酵素の一つである 3-chymotrypsin-like protease (3CLpro; Main protease、Mpro などと呼ばれることもあります) に結合することが予測される低分子化合物を既承認薬 (approved drug) から同定するための検討 (drug repurposing) を実施し、その中間結果が判明致しましたので、ここにお知らせ致します。

上記低分子化合物は、弊社独自の人工知能 (AI) による低分子化合物活性予測システムである AI-guided INTENDD® によって高活性を示すと予測されたものであり、その数はこれまでに 11 個に達しています。これらの化合物のうち、4 個は既に他の研究機関も報告している物質でしたが、それ以外の 7 個はどの研究機関からも報告が無く、インタープロテインが独自に見出した drug repurposing 候補化合物です。これらの化合物については、既に医薬用途特許を出願済みであり、今後、他の研究機関と共同で臨床試験実施に向けた準備を進める予定です。

なお、既承認薬からの化合物同定を完了した後は、臨床試験移行化合物 (investigational drug) からの化合物選定も実施する予定です。さらにその後、将来のコロナウイルスによるパンデミック等を見据え、新規医薬品 (new chemical entity、NCE) の探索的研究にも着手する予定です。

これら一連の研究を通じ、弊社は COVID-19 のみならず、未来の新型コロナウイルスによる死者を一人でも多く減らせるよう、独自の分子設計および AI 創薬技術で貢献したいと考えています。

以上

本件に関するお問い合わせ：

インタープロテイン株式会社
事業開発本部 小松 弘嗣
E-mail : info@interprotein.com